

SJクイズ?

[問題編]

Q1

平成28年中の交通事故死者数3904人を状態別にみると、自動車乗車中は1338人ですが、このうち高齢者（65歳以上）は何%を占めているでしょう？

- ①約30% ②約50% ③約70%

Q2

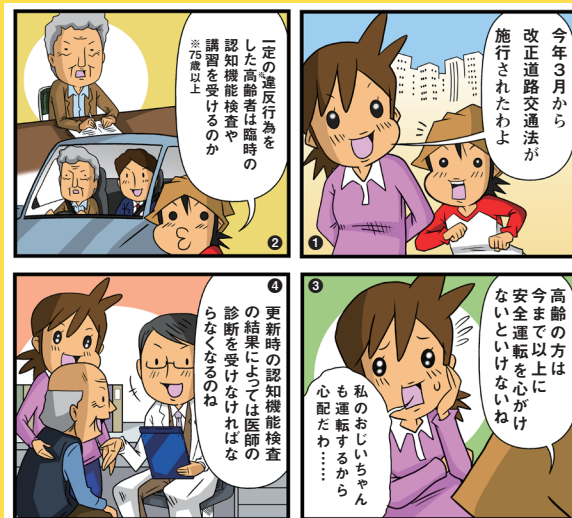
高齢運転者（65歳以上）による交通事故件数で、最も多い事故類型は次のうちどれでしょう？

- ①追突 ②出会い頭衝突 ③右折時

Q3

75歳以上の高齢運転者による交通事故件数を法令違反別にみると、安全運転義務違反が約7割を占めていますが、安全運転義務違反以外で最も多い違反は次のうちどれでしょう？

- ①信号無視
②交差点安全運転進行義務違反
③指定場所一時不停止等



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q1 解答 ②約50%

<解説>

平成28年中の自動車乗車中の交通事故死者数（1338人）を年齢層別にみると、65歳以上は643人と前年と比べて増加し、48.1%を占めている。高齢ドライバーが安全運転を実践することが死者数の低減につながるといえる。また、運転しない高齢者もクルマに同乗する場合は万一の時の被害を軽減するために、すべての席でシートベルトを着用してほしい。

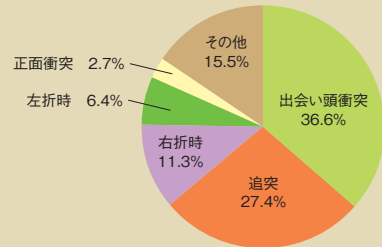
※ 出典：警察庁資料

Q2 解答 ②出会い頭衝突

<解説>

高齢運転者（65歳以上）による交通事故件数（8万6714件）を事故類型別にみると、最も多いのは「出会い頭衝突」で、「追突」、「右折時」と続いている。「出会い頭衝突」を防ぐためにも、見通しの悪い交差点などを通過する時は十分な安全確認をしてほしい。「出会い頭衝突」が占める割合は「65～74歳」より「75歳以上」のほうが高くなっていることから、高齢になるほど注意が必要といえる。

●65歳以上の事故類型別・交通事故件数の構成率（平成27年）



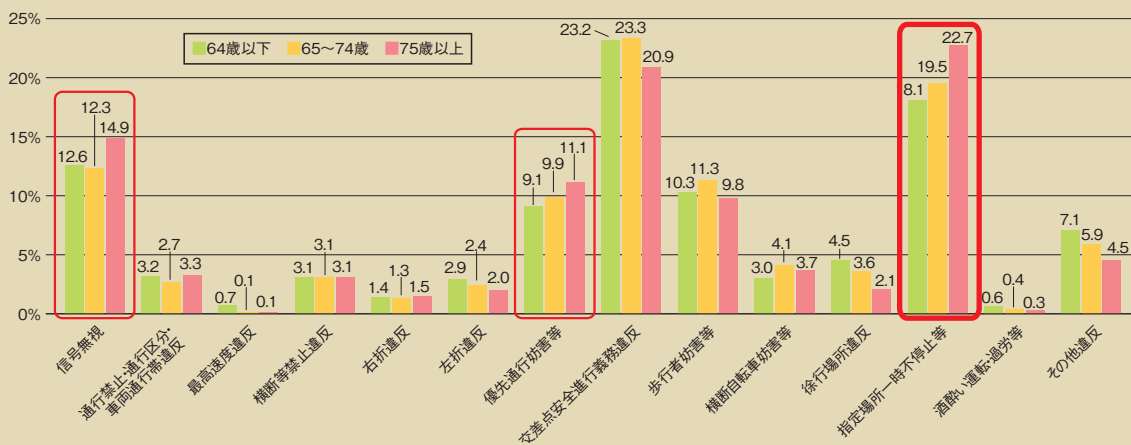
※ 出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

Q3 解答 ③指定場所一時不停止等

<解説>

75歳以上の高齢運転者による交通事故件数を法令違反別にみると、「安全運転義務違反」（68.4%）の次に多いのは「指定場所一時不停止等」（22.7%）である。この違反の構成率は「64歳以下」「65～74歳」と比較しても高い。「優先通行妨害」や「信号無視」といった違反も同様の傾向がある。「止まれ」の標識のある場所では、必ず停止線の手前で止まってから徐々に前に出て、左右の安全を確認してほしい。これを確実にすることが「出会い頭衝突」防止にもつながる。

●安全運転義務違反以外の法令違反別・交通事故件数の構成率（平成27年）



※ 出典：（公財）交通事故総合分析センター資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736